

# ブルーウェーブを嫌気した 債券市場？

- 大統領選挙特別レポート② -

2020年11月5日

YEN 蔵 / 田代 岳



本レポートは情報提供を目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。  
マネーパートナーズは、本レポート記載の情報の正確性、確実性等を保証するものではなく、本レポートに基づいて被ったいかなる損失・損害についても一切の責任を負いません。  
投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断にて行っていただきますよう、お願いいたします。  
本レポートの無断の複製、転載、販売等を禁止します。

## ブルーウェーブを嫌気した債券市場？

前回の大統領選に向けたレポートで4つのポイントについて書きました。もう一度おさらいしますと、

- 1、大統領はトランプ氏になるのかバイデン氏になるのか
- 2、大統領がすぐに決まらなくて長期戦になる可能性は高いのか
- 3、議会選挙で上院、下院をどちらがとるか
- 4、それぞれの大統領と議会の組み合わせで相場にどのような影響が出るのか

1と2に関しては前回書きましたが、今回は大統領と議会の組み合わせに関して書きたいと思っています。とはいえ本レポート執筆時点（4日夜）での大統領選挙の結果は大統領選の選挙人の確保はバイデン候補 224、トランプ好悪補 213（CNNによる）となっています。

上院は民主党 45 人、共和党 47 人（Real Clear Politics による）、下院は民主党 189、共和党 182（Real Clear Politics による）このようにまれにみる接戦となっており、この時点で勢力図を述べることは難しい状態です。

大統領選、議会選挙をうけてマーケットの動きをおさらいしてみたいと思います。まず今週の米国株はダウが 1000 ドルほど上昇するなど非常に堅調で、選挙後の接戦でも株価は堅調な動きを保っています。

為替の動きは当初はドル売り円売りが加速し、ドル円は久々に 105.34 まで上昇、ユーロ円は

123.06、ポンド円は 137.36、豪ドル円は 75.45 と直近の高値まで上昇しました。その後はドルが買い戻されクロス円も円高方向に向かいましたが株価は上昇しており、リスクオン、ドル安円安、リスクオフ、ドル高円高というパターンが当てはまらない動きになっています。

朝方は株価の上昇を受けて米 10 年債の利回りは一時 0.93%と 6 月以降の高値圏まで上昇しました。このところ米国債の利回りが上昇したのは大統領、上下院が民主党によって占められるいわゆるブルーウェーブが起こるのではないかとの思惑からです。大きな政府を目指す民主党政権になると財政赤字が膨らんで国債の発行が増えることを危惧する長期金利の上昇でした。しかし朝方共和党の健闘が伝えられる米国債の利回りは一気に低下し海外市場で低下が続き 0.77%付近まで低下しています。

大統領選、議会選挙の結果は出ていませんが、ここまでの動きをまとめると

為替 選挙戦への警戒感から、また米長期金利の上昇を受けて一時ドルインデックスは 94.30 と高値を付けましたが、その後は下落中。

株価 選挙に対する警戒感から 30 日までは下落していましたが、その後反発して本日も上昇している。

債券 民主党政権への警戒感から長期金利は上昇しましたが、現在は下落中。これは今後選挙戦が長引くことへの警戒感も入っているのかもしれませんが。

それぞれ別々の動きをしているようですが、総じて言えるのは選挙前までの動きと逆になって

いるということです。そうであれば、この流れがしばらくは続くのではないと予想します。

---

#### 執筆者情報

YEN 蔵 / 田代 岳 (@YENZOU)

投資情報配信を主業務とする株式会社 ADVANCE 代表取締役。

米系のシティバンク、英系のスタンダード・チャータード銀行と外資系銀行にて、20 年以上、外国為替ディーラーとして活躍。

為替を中心に株式、債券、商品、暗号資産と幅広くマーケットをカバーして、分かりやすい解説を行っている。

## リスク等の広告記載事項

パートナーズ FX、パートナーズ FXnano および CFD-Metals は、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズ FX およびパートナーズ FXnano の受渡取引に限り、1 通貨単位あたり 0.10 円の手数料をいただきます。

パートナーズ FX およびパートナーズ FXnano の取引に必要な証拠金は、取引の額の 4%以上の額で、証拠金の約 25 倍までの取引が可能です。法人コースの証拠金は、為替リスクを想定し通貨ペアごとに当社が定める額と、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額のうちいずれか大きい額とします。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第 117 条第 27 項第 1 号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。

CFD-Metals の取引に必要な証拠金は、取引の額の 5%以上の額で、証拠金の約 20 倍までの取引が可能です。国内市場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の 2.75%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で 2,750 円(消費税込み)をいただきます。国内市場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

## お問い合わせ先

株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

金融商品取引業の登録番号: 関東財務局長(金商)第 2028 号

加入協会: 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

〒106-6233 東京都港区六本木 3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー33 階

各種お問い合わせはこちら: <https://www.moneypartners.co.jp/support/info/>